

平成25年度当初予算主要・新規事業概要書

会 計 名 介護保険特別 会 計

NO.20

○介護保険特別会計予算は、流山市が保険者として、介護保険料、国庫支出金、社会保険診療報酬支払基金、県支出金、市負担をもって、介護認定に関する調査・審査、介護(予防)サービス受給者への給付及び地域支援事業の運営に要する経費を計上したものです。
 ○介護保険制度については、介護保険法第117条の規定に基づき3年を1期として見直しすることとされており、平成25年度は、第5期介護保険事業計画の2年目となります。
 ○主要な事業としては、①介護支援サポーター事業を開始し、65歳以上の方々の社会参加により介護予防の促進と社会貢献という生きがいがづくりの促進を図ります。②平成25年度から定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業を開始し医療ニーズが高く、手厚い介護が必要な方へサービスを提供します。③平成26年度中に運営を開始できるよう特別養護老人ホーム及び認知症対応型生活介護(グループホーム)の事務手続きを進めてまいります。

25年度当初予算 89億9,790万5千円 24年度当初予算 83億8,740万1千円 対前年度 6億1,050万4千円増(7.27%増)

<歳入>
歳入増減の主なもの

	平成25年度	平成24年度
1款 保険料	118,227千円増 (2,252,866千円 ← 2,134,639千円)	
3款 国庫支出金	96,188千円増 (1,588,605千円 ← 1,492,417千円)	
4款 支払基金交付金	215,156千円増 (2,476,264千円 ← 2,261,108千円)	
5款 県支出金	117,833千円増 (1,300,688千円 ← 1,182,855千円)	
7款 繰入金	79,133千円増 (1,358,051千円 ← 1,278,918千円)	
9款 諸収入	△9,220千円減 (11,308千円 ← 20,528千円)	

<歳出>
歳出増減の主なもの

	平成25年度	平成24年度
1款 総務費	1,436千円増 (311,156千円 ← 309,720千円)	
2款 保険給付費	735,200千円増 (8,489,406千円 ← 7,754,206千円)	
3款 地域支援事業費	12,021千円増 (175,338千円 ← 163,317千円)	
5款 基金積立金	△132,340千円減 (1千円 ← 132,341千円)	
7款 予備費	1,000千円増 (9,000千円 ← 8,000千円)	

1款 保険料
 保険料については、本年度は第5期介護保険事業計画の2年目にあたり、被保険者見込人数を特別徴収分(35,046人)(対前年度比3,509人増)及び普通徴収分(4,200人)(対前年度比1,365人減)で、39,246人と見込み、総額で22億5,286万6千円(対前年度比1億1,822万7千円増)を予算計上しました。

3款 国庫支出金
 国庫支出金については、介護給付費の増額に対応し介護給付費国庫負担金15億2,823万2千円(対前年度比1億328万円増)、地域支援事業交付金については、6,037万円(対前年度比258万6千円増)、総額で15億8,860万5千円(対前年度比9,618万8千円増)を予算計上しました。

4款 支払基金
 支払基金交付金については、介護給付費の増額に対応し、介護給付費支払交付金24億6,192万8千円(対前年度比2億1,320万7千円増)、地域支援事業については、1,433万6千円(対前年度比194万9千円増)、総額で24億7,626万4千円(対前年度比2億1,515万6千円増)を予算計上しました。

5款 県支出金
 県支出金については、介護給付費の増額に対応し、介護給付費県負担金12億3,082万6千円(対前年度比1億3,566万1千円増)、グループホーム施設整備1箇所、スプリンクラー設置4箇所、自動火災報知設備2箇所、消防機関へ通報する火災報知設備2箇所の交付金として介護基盤緊急整備等臨時特例交付金3,967万7千円(対前年度比3,967万7千円増)、地域支援事業については、3,018万4千円(対前年度比129万3千円減)総額で13億68万8千円(対前年度比1億1,783万3千円増)を予算計上しました。

7款 繰入金
 繰入金については、一般会計介護給付費繰入金10億6,117万6千円(対前年度比9,190万円増)、地域支援事業については、3,032万3千円(対前年度比140万6千円増)、介護給付費準備基金繰入金228万2千円(対前年比228万1千円増)総額で13億5,805万1千円(対前年度比79,133万3千円増)を予算計上しました。

9款 諸収入
 諸収入については、高齢者給食サービス事業に係る利用料について、1食当たり課税世帯500円、非課税世帯については350円とし、総額で1,130万8千円(対前年度比922万円減)、総額で1,130万8千円(対前年度比922万円減)を予算計上しました。

1款 総務費
 総務費では、給食サービス業務委託料の見込利用人数減のため、1,654万1千円(対前年度比2,555万1千円減)、グループホーム施設整備1箇所、スプリンクラー設置4箇所、自動火災報知設備2箇所、消防機関へ通報する火災報知設備2箇所の交付金として介護基盤緊急整備等臨時特例交付金3,967万7千円(対前年度比2,999万9千円増)総額で3億1,115万6千円(対前年度比143万6千円増)を予算計上しました。

2款 保険給付費
 介護給付費については、認定者数の増加(平成24年10月1日5,727人→平成25年10月1日6,223人、496人増)により年々上昇しており、また、平成25年2月より、特別養護老人ホーム(100床分)、平成25年4月より、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所が運営を開始します。
 平成25年度につきましては、平成24年度の1件当たりの給付費に利用見込み件数を乗じて算出して、総額で84億8,940万6千円(対前年度7億3,520万円増)を予算計上しました。

3款 地域支援事業費
 地域支援事業については、第5期介護保険事業計画に位置づけのある地域包括ケアで重要な役割を担う地域包括支援センター運営委託料1億円(対前年度増減なし)を継続します。
 また、65歳以上の方々の社会貢献や生きがいがづくりのための介護支援サポーター事業を開始いたします。746万円(皆増)総額で1億7,533万8千円(対前年度1,202万1千円増)を予算計上しました。

5款 基金積立金
 基金積立金については、平成25年度については、1号被保険者の保険料について余剰金がないこと、及び財政安定化基金拠出金分の払い戻しがないことから、予算枠取りの1千円(対前年度比1億3,234万円減)を予算計上しました。